

自主的環境保全活動の取り組み状況（令和元年度）

（事業所名）株式会社日本海水赤穂工場

1 環境保全活動に関する方針等

1－1 環境保全活動に関する方針

株式会社日本海水赤穂工場は、温暖な気候の瀬戸内海に面した赤穂の地で、人間の生命を維持するために欠かすことの出来ない、海からの恵みである「赤穂塩」を歴史と伝統を引き継いで生産しております。

1. 企業理念

日本海水グループは人と海を技術でつなぎ、食と健康、そして人びとのよりよい生活に貢献します。

2. 経営方針

1. 技術と英知で、海の恵み、資源を製品・サービスにつなぐ長い歴史と伝統を生かし、豊かで健康な生活に貢献するために、常に新しい提案と新しい価値を実現して行きます。

2. お客様の視点に立ち、共に考え、豊かな創造性と優れた技術により、「安全」で「安心」な商品・サービスを提供いたします。

3. 公正で透明性の高い経営と永続的な企業価値の増大を図り、社会から尊重、信頼される企業を目指します。

4. 社員一人一人が尊重され、自らを高め、挑戦する活力のある集団を目指すと共に、良き企業市民としての責任を自覚して社会と共に歩み、その発展に貢献して参ります。

3. 行動指針

以上の企業理念、経営方針のもと、次の事項を継続実施します。

1. 関連する法規制、条例、協定及び自ら定めた基準を遵守します。

2. 開発からお客様が最終製品を消費するまで、全ての工程において不適合をなくすことに努めます。

3. お客様の要望を反映しつつ、安定生産、品質向上、コストダウン、商品開発に努め、お客様に満足いただける企業を目指します。

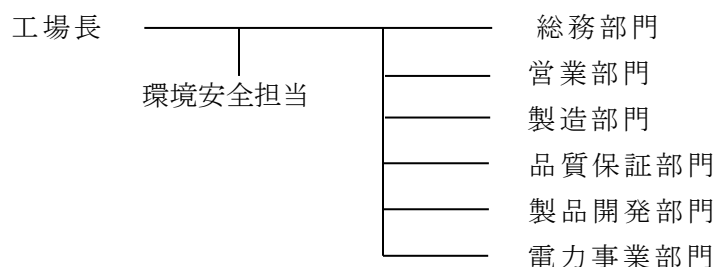
4. マネジメントシステムが効果的であり続けるよう、その有効性を見直し、システムの継続的な改善を図るとともに、環境汚染の予防及びパフォーマンスの改善に努めます。

5. エネルギー、天然資源等の省資源に努め、廃棄物の削減、リサイクル活動の推進を図り、環境負荷の低減に努めます。

6. 一人一人が労働安全衛生に責任を持ち、全員で安全と健康を確保します。

また、「環境方針」は第三者に公開します。

1－2 環境保全活動に関する組織体制



2 環境保全活動の実施状況等

項 目	取組結果	今後の取組計画
エネルギー使用量の削減	・電気透析交換膜更新による電力原単位向上を図った。 ・構内照明において蛍光灯・水銀灯のLEDへの変更実施中。 ・フォークリフトのアイドリングストップを実施した。	・電気透析交換膜更新による電力原単位向上 ・電気透析設備関連の効率向上 ・収率改善対策の継続
CO ₂ 排出量の削減	・バイオマス発電所及びガスタービン発電設備の安定運転により、CO₂排出量の削減を図った。 ・製品出荷の輸送手段において船輸送の割合を増加しトラック輸送割合の減少を図る。 ・「企業の森づくり活動」への取組み、参加	・継続 ・継続 ・継続
産業廃棄物排出量の削減	・廃油処理の分別による再資源化を図った。 ・電気透析交換膜更新によるCaSO₄析出量削減を図った。（石膏排出量削減） ・紙くずを製紙原料として再資源化を実施した。	・石膏・紙くずの再資源化継続 ・継続 ・継続
従業員教育の徹底	・新入社員に対する自覚教育を実施。	・環境保全に関する従業員への教育
水道使用量の削減	・水道水からドレン水への置き換え	・ドレン水の有効利用を図る。
日常業務の改善取り組み	・不要照明消灯、パソコン類の未使用時の電源OFF ・空調の適温化 ・産業廃棄物の分別化 ・両面印刷、両面コピーの徹底	・左記同様